

ASK ニュース

Vol.0266

2017年8月28日(月)

担当：MS事業部 三宮

ASKコンサルティング株式会社

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-22-21

損保ジャパン日本興亜名古屋ビル1F

TEL 052-971-1122 FAX 052-971-4488

<http://www.ask-consult.co.jp/>

日本有事で円高？

はじめに

8月29日北朝鮮が北海道の襟裳岬の上空を通過し日本の東の太平洋にミサイルを落下させました。日本にとっては安全保障上極めて深刻な状況であると言わざるを得ません。

当然その影響で東京株式市場は値を下げて株安となりました。しかし、私のような投資の素人が一つ解せないことが起こりました。それは、このような日本が危険な状態であるのにも関わらず円高になったということです。円高になるということは円が買われるということです。なぜ、北朝鮮にミサイルで狙われるかもしれない日本の円が買われるのでしょうか。

安全な資産？？

いろいろなニュースを見ていると今回の円高は、海外投資家がリスク回避の為に比較的「安全な資産」とされる円を買いに走ったからだという分析が多いです。

しかし、この分析が私のような素人には良く分からないのです。なぜ、北朝鮮にミサイルで狙われるかもしれない日本の通貨を今買うのか。しかも「安全な資産」として。

この分析は本当に正しいのでしょうか。

株価下落による為替ヘッジ

今回の円高の分析は諸説あるのですが、一番説得力があるのは海外投資家が安全な資産として円を選んだというのではなく、株価下落を予測しての為替ヘッジであるという分析です。

海外投資家が日本株を買うときには例えばドルを売って円に両替をしてから株を買います。円に両替をするということは円を買うということです。そうすると自然に円高に進みます。そうすると為替リスクを避けるために海外投資家はその反対に円を売るという取引をします。これを為替ヘッジと言います。

今回は、日本株が下がると予想した投資家が日本株を売る際に円を売ってドルに両替をします。そうすると為替ヘッジのために円を買うという取引を投資家が大量に行ったために円高になるのです。

おわりに

私がこの事を調べた理由として、マスコミが良く言う「比較的安全な日本の資産」という言葉に違和感を覚えているからです。

海外の投資家は日本の円が安全だから買っているわけではありません。日本人が勝手にそう思いただけだと思います。

分散投資は投資の基本です。今後、日本の資産がリスクになる可能性は十分にあるのです。